

令和元年度 入札監視委員会議事概要

沖縄防衛局

開催日及び場所	令和元年6月28日（金）於：沖縄防衛局
委員	矢吹 哲哉(委員長：琉球大学名誉教授) 堤 純一郎(琉球大学工学部教授) 原田 泰人(公認会計士) 古堅 豊(弁護士) 山城 勝(沖縄県経営者協会常務理事)

I 沖縄防衛局が発注する建設工事等に関する審議

審議対象期間	平成31年1月1日 ～ 平成31年3月31日	
審議対象件数	172件	
1. 入札状況について（入札参加資格の設定、指名及び落札者決定の経緯等について）		
抽出件数	8件	(審議概要) ・契約状況、指名停止状況、低入札価格調査等について報告 ・工事概要、競争参加資格の設定及び落札者決定の経緯等について説明
建設 一般競争	2件	
設 一般競争(政府調達協定対象外)	2件	
工 指名競争	0件	
事 随意契約	0件	
建設コンサルタント業務等	4件	
	意見・質問	回答
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	契約状況、指名停止状況、低入札価格調査等について説明。 【低入札価格調査について】 ○ 特になし 【抽出事案について】 ● 工事 一般競争入札方式 (政府調達協定対象) 陸自宮古島(30)隊庁舎(C)等 新設建築工事 ○ 隊庁舎は隊員の居住施設もあるのか。予定価格が高額な理由は何か。	○ 隊庁舎は、部隊の事務所と、隊員の居住施設の両方があるため、事務所機能のみの庁舎と比べると高額である。

**一般競争入札方式
(政府調達協定対象)
陸自石垣島(30)駐屯地造成工
事(その7)**

- 最近の工事では沖縄本島でもそうだが人手不足である。離島での工事ではあるが、かなりの数の業者が応募されている理由は何か。

**一般競争入札方式
(政府調達協定対象外)
嘉手納(30)雨水排水施設(57
7)整備土木追加工事**

- 一者応札になった理由は何か。
- 追加工事にした理由は何か。また、随意契約にしなかったのは何故か。

**一般競争入札方式
(政府調達協定対象外)
ハンセン(H30)進入路造成工事**

- 応札の辞退者が多いのは何か。

**● 業 務
公募型プロポーザル方式
シュワブ(H30)波浪解析業務**

- 本件業務について、プロポーザル方式による随意契約に至るまでの流れについて説明されたい。

**簡易公募型プロポーザル方式
陸自宮古島(30)訓練場地区環
境モニタリング調査業務**

- プロポーザル方式の予定価格については、参考見積をもらって予定価格を作成しているから落札率が高いのか。
- 概算金額を提示しているがどの程度の概算金額か。

- 工事内容は、造成工事で切土、盛土工事が主な一般的な工事であり、工事内容に特殊なものがなかったためと推測する。

- 29年度に契約した工事の継続工事であり、他社が応募しなかったと推測する。

- 29年度に全体で発注したが、工事途中で現場条件等の変更による予算不足が生じたため、追加工事が必要となった。随意契約にする場合は、一体不可分である等の明確な理由が必要である。

- 入札時期が年度末ということもあり、他の工事の受注状況等で、辞退したと推測する。

- 3者から提出された技術提案書について、書類審査及びヒヤリングの結果を踏まえ1者を特定し、見積り合わせを経て随意契約したもの。

- 入札に参加している者からも参考見積を徴取し、単価等査定も行うが、プロポーザル方式は価格競争の要素がないため、一般的に落札率は高くなる傾向にある。

- 過去の事例や参考見積等をもとに算出している金額である。

	<p>一般競争入札方式 (政府調達協定対象外) 陸自石垣島(30)駐屯地土木工 事監理業務</p> <p>○ 複雑な業務ではないと思う が、参加者が1者となった理 由は何か。</p> <p>一般競争入札方式 (政府調達協定対象外) シュワブ(H30)ユーティリティ土 木設計</p> <p>○ 入札に参加した2者のう ち、1者は予定価格超過とな ったため技術評価点が与えら れなかったのか。</p>	<p>○ この業務は、石垣島で技術者 2名を約2年間常駐させる監理 業務のため、技術者の確保が難 しかったと推測する。</p> <p>○ 貴意のとおり。</p>
委員会による意 見の具申又は勧 告の内容	・なし	

2. 談合疑義案件の処理状況について

談合疑義件数		0件	(審議概要) ・なし
工 事	談合情報	0件	
	点検結果疑義	0件	
業 務	談合情報	0件	
	点検結果疑義	0件	
○委員からの 意見・質問		意見・質問	回 答
○それに対する 回答等		・なし	
委員会による意 見の具申又は勧 告の内容		・なし	

3. 入札結果の事後的・分析結果について

審議概要	平成30年度1/四半期～4/四半期分に関する建設工事及び建設 コンサルタント業務等に係る入札方式別の落札率、応札率、一者応 札、一者応募及び一位不動等の状況について説明を行った。	
○委員からの	意見・質問	回 答
	・なし	

意見・質問 ○それに対する 回答等				
委員会による意見の具申又は勧告の内容		・なし		
4. 再苦情処理（再説明請求回答）				
再苦情申立件数 （再説明請求件数）		総件数	0件	（備考）
建設 工事	一般競争（政府調達協定対象外）		0件	
	指名競争		0件	
	随意契約		0件	
建設コンサルタント業務等※			0件	
再苦情申立概要 （再説明請求概要）		申立日	件名	契約方式
○委員からの 意見・質問 ○それに対する 回答等		意見・質問		回 答
		・なし		
委員会による意見の具申又は勧告の内容		・なし		

II 契約実施機関が締結する契約（地方防衛局等が発注する建設工事等を除く。）に関する審議

審議対象機関	沖縄防衛局	
審議対象期間	平成31年1月1日～平成31年3月31日	
審議対象件数	1件	
1. 入札状況について（入札参加資格の設定、落札者決定の経緯等について）		
抽出件数	0件	(審議概要) ・シュワブ（H30）陸上警備業務の積算内容について再説明 ・北部（H30）警備業務（その2）の低入札について説明
一般競争	0件	
指名競争	0件	
随意契約	0件	
	意見・質問	回答
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	【前回の委員会の再説明】 シュワブ（H30）陸上警備業務の積算内容について 【低入札価格調査について】 北部（H30）警備業務（その2） ○ 本業務が低入札価格調査となったのは、局の予定価格が高いことが要因ではないのか。	○ 警備業者から徴収した見積単価の査定方法等について説明。 ○ 受注業者から提出された資料について、内容の確認及びヒヤリング等を行った結果、会社利益分としての一般管理費を計上していないなど、本来、見込むべき経費を計上していないことを確認しており、こうしたことが、今回の低価格入札の要因になったと考える。

II 契約実施機関が締結する契約（地方防衛局等が発注する建設工事等を除く。）に関する審議

審議対象機関	沖縄防衛局	
審議対象期間	平成30年4月1日～平成31年3月31日	
審議対象件数	391件	
1. 入札状況について（入札参加資格の設定、落札者決定の経緯等について）		
抽出件数	4件	（審議概要） ・調達の概要、競争参加資格の設定等について説明
一般競争	2件	
指名競争	0件	
随意契約	2件	
	意見・質問	回答
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	低入札価格調査対象事案 「沖縄・地域安全パトロール隊の道路巡回業務（30）」 ○防犯パトロールを行う事によって、どれほどの効果があるのか、検証しているか。	○効果について、具体的に数値で表すことは難しいが、沖縄本島内における各地域の安心・安全な地域環境を確保することを目的としている事業であり、重要なものと認識している。検証は実施していない。
	審議対象事案 一般競争 「宮古島駐屯地（仮称）訓練場の用地取得に係る不動産鑑定評価業務」 ○低入札価格調査制度対象案件にも該当しているが、調査の結果履行可能と判断した過程を説明されたい。	○落札業者へヒアリングを実施したところ、宮古島市の地価及び取引事例に精通しており、人件費及び諸経費を企業努力により抑制した結果、当該価格で入札したものであり、同社と契約しても履行がなされるものと判断し、同社を落札決定したものの。
	○入札結果を確認したところ、落札業者も含め各社の応札額と予定価格にかなり差があるが、予定価格が高すぎるのではないのか。どのように積算しているのか。	○予定価格の積算にあたっては、沖縄地区用地対策連絡会が定める公共事業に係る不動産鑑定報酬基準により作成している。
	○低入札価格制度調査対象案件に鑑定評価業務が2件該当して	○当局が発注する鑑定評価業務の落札率がすべて低いわけではない

いるが、毎回予定価格と差が生じるのであれば、入札結果を踏まえ予定価格を実勢価格で作成したほうが効果的ではないのか。

○人件費及び諸経費を企業努力で抑制した結果とあるが、人数を減らしたということか。

**一般競争
「ハンセン (30) 希少動植物調査業務」**

○予定価格と契約金額にかなり差があるがその理由は何か。

○落札業者は沖縄防衛局が発注する環境調査業務の実績が他にもあるようだが、諸経費を企業努力により抑制してまで当該業務を受注する必要があるのか。

○落札業者は諸経費をどのように抑えているのか。

**随意契約
「土壌調査結果の分析業務」**

○業務概要を説明されたい。

○随意契約理由を説明されたい。

○見積合わせに3者参加しているが、当該業者の選定理由は何か。

**随意契約
「牧港補給地区(国道58号沿)(30)支障除去措置監理・検討業務」**

○業務概要を説明されたい。

ため、積算方法の変更については実績を踏まえ検討していきたい。

○人数を減らしたのではなく、過去の取引事例に精通しており、その結果、人件費及び諸経費を抑制できたもの。

○落札業者へヒアリングを実施したところ、当該調査の実績経験を積みたいことから、諸経費を企業努力により抑制し、当該価格で入札したため、予定価格と差が生じたもの。

○同様な環境調査業務でも、海域調査業務の受注実績はあるようだが、当該業務のような陸域調査業務の経験がほとんどなく実績経験を積むために当該価格で入札したものの。

○当該業務に関連した別途業務を受注した実績があることから諸経費を抑制できたものとする。

○土壌汚染等の調査結果の解析を行うもの。

○業務の性質上、早急に契約を行う必要があったため、緊急の必要により随意契約を行ったもの。

○過去同様業務の応札実績を参考に選定している。

○本件返還地における土壌汚染調査の結果、不発弾探査を迅速に行うための調整手法、支障除去措置の円滑な実施を行うための工程計画の作成を行う業務である。